

公共的施設を円滑に利用できる福祉のまちづくりの推進に向けた アンケート調査の概要

- 本協議会の目的である「すべての道民が公共的施設などを円滑に利用できる福祉のまちづくり」を進めるに当たっては、公共的施設の設備が道条例に定める基準に適合しているのみならず、障がい者や高齢者等（以下「当事者」という。）にとって利用しやすい配慮等がなされていることが大切です。
- このため、今般、当事者の方々が施設利用に際して必要とする配慮等を改めて集約し、公共的施設の整備を行う関係者に参考としていただく目的で、当事者の視点に立った「施設の利用しにくさ」に関するアンケート調査を行おうとするものです。

1 アンケート調査の設問について

このアンケート調査は、当事者の方々が施設利用に際して必要とする配慮等を把握することが目的であるため、当事者の視点に立った「施設の利用しにくさ」を知ることができる設問とし、大枠では次のような流れを考えています（詳細は別紙「アンケート調査票のイメージ」のとおり）。

- ① 公共的施設で「利用しにくい」と思ったことはあるか
- ② どのような公共的施設で「利用しにくい」と思ったか
- ③ 「利用しにくい」と思った整備項目（※廊下、階段、トイレ等）は何か

2 回答を依頼させていただく団体の考え方について

当事者の方々が施設利用に際して必要とする配慮等がどのようなものかを身近に知る立場にある団体に回答を依頼させていただくことが効果的・効率的であるため、依頼先は次のように選定しました。

- | | |
|---|---------------|
| A | 当事者団体、当事者支援団体 |
| B | 福祉・医療関係の職能団体 |

Web回答方式
で実施予定



本協議会構成団体のうち「社会福祉・医療等」に区分される計23団体
※ 御回答は、各構成団体の支部や会員の皆様のお声を集約していただくことを求めるものではなく、把握している範囲で御記入いただくことを想定しています。

3 回答結果の活用方法について

公共的施設の整備を行う関係者の方にとって、福祉のまちづくりを考える上での参考としていただけるよう、アンケート調査で得られた当事者の方々の声を集約し、本協議会での協議を踏まえ、道のホームページに掲載したいと考えています。

※ 掲載のイメージは別紙4「アンケート調査の結果集約表（案）」のとおりです。